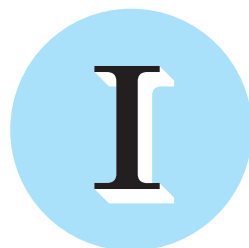


## 学部編



### 薬学部概要

# 1 再試験制度について

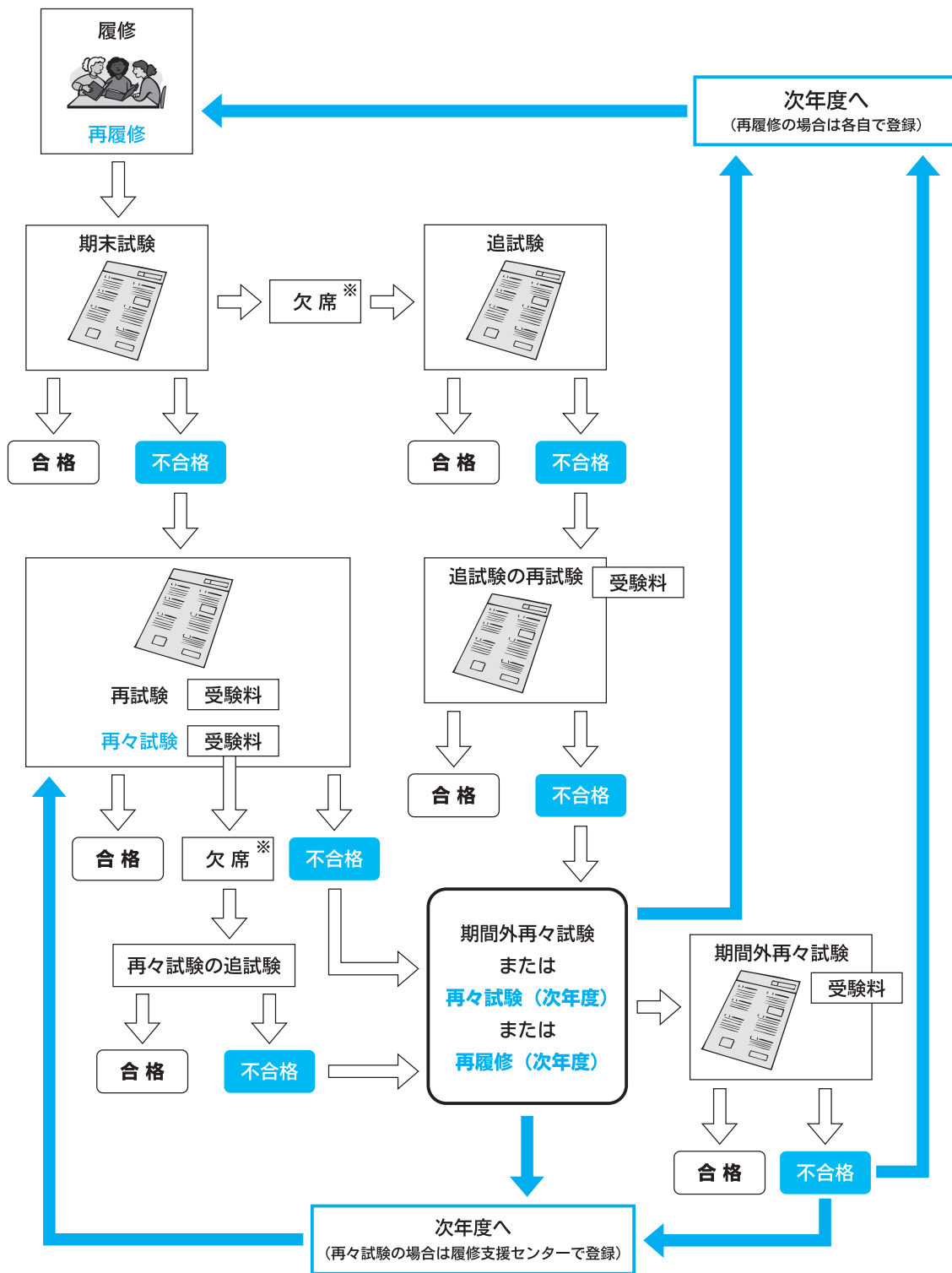
薬学科では、専門教育科目（薬学PBL、薬学セミナー、CBL、卒業論文、文献調査、実験・実習および実技を除く）の評価が「F」であった場合、各期再試験を実施します。また、追試験においても同様に再試験を実施します。日程の詳細については、別刷の教務関係事項スケジュール表で確認してください。

## 〔1〕再試験

- (1) 評価が「F」の学生は、全員再試験受験対象者となり、再試験を受験しなければなりません。ただし、期日までに再試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができます。
- (2) 再試験受験を辞退した者が後に当該科目の単位を修得しようとする場合は、同科目を再履修しなければなりません。
- (3) 再試験対象者および再試験時間割は、K-PORTで発表します。
- (4) 再試験は1科目につき3,000円です。学納金口座から引き落としとなります（前期科目は12月、後期科目は次年度7月〔6年生が後期に再試験を受験する場合は、証明書自動発行機で受験料を納付〕）。
- (5) 再試験を次の理由により受験できなかった場合、再試験実施日から3日以内（最終日が休日の場合、その翌日）に履修支援センターに必要な証明書を提出し手続きをすることにより、対象科目の再試験料の支払いが免除され、再々試験を受験することができます。
  - ア) 大学共通編 ① 7試験について〔1〕③追試験 a～g の理由で欠席した場合
  - イ) その他、薬学部長が認めた場合

## 〔2〕再々試験・期間外再々試験

- (1) 再試験の評価が「F」の場合は、原則としてその科目は次年度再履修となります。ただし、次年度の再履修が不可能な場合、必修科目に限り次年度に再試験に対する再試験（以下、再々試験）の受験が認められます。再々試験の受験が認められた場合、履修登録は履修支援センターで行います。
- (2) 再々試験は1科目につき3,000円です。学納金口座から引き落としとなります（前期科目は12月、後期科目は次年度7月〔6年生が後期に再々試験を受験する場合は、証明書自動発行機で受験料を納付〕）。ただし、期日までに再々試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができます。
- (3) 再々試験を次の理由により欠席した場合、履修支援センターに必要な証明書を提出し手続きをすることにより、追試験の受験が認められます。
  - ア) 学校保健安全法施行規則第18条に規定されている感染症に感染または感染の疑いがある場合
  - イ) 忌引きの場合－忌引きは二親等までとし、履修要覧に示された日数が限度です。
- (4) 期間外再々試験とは、再試験期間より前に実施する試験です。前期科目は10月～1月、後期科目は次年度4月～7月に行われます。期間外再々試験は1科目につき3,000円です。学納金口座から引き落としとなります（前期科目は12月、後期科目は次年度7月〔6年生が後期に期間外再々試験を受験する場合は、証明書自動発行機で受験料を納付〕）。ただし、期日までに期間外再々試験辞退願を履修支援センターへ提出することにより、受験を辞退することができます。
- (5) 卒業年度に限り、各期再試験（前期科目の場合は期間外再々試験を含む）の評価が「F」であった科目は、卒業年次対象再試験制度の対象となります。受験のための手続きがありますので注意してください。卒業年次対象再試験については、大学共通編 ① 7試験について を参照してください。



※欠席は大学で定めた理由によること。

**受験料**

受験料3,000円が必要です。

学納金口座から引落としとなります。

(注意) 6年生後期は証明書自動発行機で受験料を納付してください。

## 2 進級制限制度について

2年次終了までに修得すべき**必修科目**（共通教育科目および専門教育科目…下記①を参照）の内、**6科目以上未修得**のときは、3年次に進級することができません。

3年次終了までに修得すべき**必修科目**（共通教育科目および専門教育科目…下記②を参照）の内、**6科目以上未修得**のときは、4年次に進級することができません。

薬学共用試験に不合格となった場合、5年次に進級できません。薬学共用試験の詳細は、「3 薬学共用試験について」を参照してください。

① 共通教育科目：学部6頁「卒業最低修得単位数の詳細」表の必修科目欄において太字で★が記載されている科目

専門教育科目：学部19頁「専門教育科目の課程表」において太字で★が記載されている1～2年次開講科目

② 共通教育科目：学部6頁「卒業最低修得単位数の詳細」表の必修科目欄において太字で★が記載されている科目

専門教育科目：学部19頁「専門教育科目の課程表」において太字で★が記載されている1～3年次開講科目

## 3 薬学共用試験について

薬学共用試験とは、CBT（Computer-Based Testing）とOSCE（Objective Structured Clinical Examination）から構成される試験です。実務実習を行う前に、この両試験に合格しなければなりません。試験日程は別刷の教務関係事項スケジュール表で確認してください。

### 【薬学共用試験】

	CBT	OSCE
試験料	28,000円（CBT体験試験、CBT、OSCE 併せて）	
追再試験料	12,500円	12,500円

**CBT**：実務実習に必要な知識を持ち合わせていることを確認する、コンピュータを用いた試験です。共用試験センターサーバに保存されている問題が無作為に選ばれ、インターネットを介して各受験生に送付され、それを受験生が解いていく方式で行われます。問題は310問で、10分野（ヒューマニズムとイントロダクション、物理系薬学、化学系薬学、生物系薬学、健康と環境、薬と疾病「薬理系」、薬と疾病「薬剤系」、薬と疾病「情報系」、薬と社会、実務実習事前学習）から出題されます。

**OSCE**：実務実習に必要な技能・態度を持ち合わせていることを確認する実技試験です。課題は、提示されている5ステーション「患者・来局者対応」「薬剤の調製（2課題）」「調剤鑑査」「無菌操作」「情報の提供」で、6課題を行います。

## 4 実務実習について

- (1) 実務実習は学外の医療施設で行う実習です。病院における実習と薬局における実習を各11週間ずつ、合計22週間行います。実務実習では、主に薬剤師として必要な知識、技能、態度を医療現場で学びます。
- (2) 実務実習を履修するためには以下の要件を満たす必要があります。

### ①薬学共用試験合格

### ②次の6科目の単位修得

科目名	単位数
薬剤学(3)	1
医療薬学(2)	1
医療薬学(3)	1
医療薬学系実習(3)	1
事前実習	4
CBL(3)	1

## 5 ホワイトコートセレモニーについて

薬学共用試験（CBT と OSCE）および実務実習事前学習の科目を修得した学生は、ホワイトコートセレモニーへの出席を許可され、実務実習参加の認証を受けることができます。セレモニーは、学部長が真新しい白衣を壇上で手渡し、宗教主事が聖書を読み、祈りを捧げることで厳粛かつ整然と行われます。セレモニーの目的は、医療現場にでるためのモチベーションの高揚と倫理・道徳意識の向上、そして医療チームの一員として白衣を着用することの重みと意義について認識させることにあります。

## 6 薬学総合演習について

原則として、追試験対象となりません。また、卒業年次対象再試験制度の対象となりません。

# 7 卒業最低修得単位数の詳細

科目名の★は必修

薬学科				
卒業要件			188 (単位)	
共通教育科目			40	
必修	金城アイデンティティ科目	①キリスト教	キリスト教学(1) ★ 2	22
			キリスト教学(2) ★ 2	
	④教養基礎科目	倫理学 ★ 2		
		心理学 ★ 2		
		法学 ★ 2		
	⑥英語教育科目	英語コミュニケーションA(1) ★ 1		
		英語コミュニケーションA(2) ★ 1		
		英語コミュニケーションB(1) ★ 1		
		英語コミュニケーションB(2) ★ 1		
		英語コミュニケーションC(1) ★ 1		
		英語コミュニケーションC(2) ★ 1		
		英語コミュニケーションD(1) ★ 1		
		英語コミュニケーションD(2) ★ 1		
	⑧情報教育科目	情報リテラシー ★ 2		
IT活用H ★ 2				
選択必修A	金城アイデンティティ科目	①キリスト教	①～③の中から2テーマにわたり 2科目選択(1テーマだけは不可) *必修科目を除く	4
		②女性		
		③国際理解		
	④教養基礎科目から3科目選択(「倫理学」、「心理学」、「法学」を除く)	6		
⑩S&E教育科目から2科目選択(「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く)	2			
選択必修B	⑤教養展開科目		2	18
	⑦外国語教育科目			
	⑧情報教育科目(「情報リテラシー」、「IT活用H」を除く)			
	⑨キャリア開発教育科目(「キャリア開発A」、「キャリア開発B」を除く)			
	⑪プロジェクト科目			
選択必修C	⑥を除く上記の科目群から必修および選択必修A・Bで選択したもの以外を選択		4	
専門教育科目			148	
基礎科目	必修		16	
基幹科目	必修		30	
展開科目	必修		26	32
	選択必修		6	
実習科目	必修		33	
演習科目	必修		27	
卒業研究	選択必修		10	
資格関連科目			—	
自由履修			—	